

広報

おくり

世かよいあう幸の島：みんなの



2008
April
No.481



あしうただしまふうぶつし 哀愁漂う島の風物詩!!

毎年3月末ころ、奥尻港では色とりどりの紙テープが舞います。

転勤や転出などに伴って、フェリーターミナルは見送る方たちの惜しみない紙テープが乱舞しますが、この様子は島特有のもので、別れの悲しみを倍増させ、涙で見送りをする人の姿は、哀愁漂う奥尻島の風物詩にもなっています。

この紙テープが舞う光景を見ると、今年もまたそんな時期になったのかと思いつつ、1年という月目の流れの早さと、また新たな年度がきたのだなあという実感がわいてきます。。。。。



平成20年度

奥尻町長施政方針

奥尻町長 和田良司

はじめに...

3月6日から12日にかけて開催されました「平成20年第1回奥尻町議会定例会」で、和田町長の平成20年度における「奥尻町長施政方針」が行われました。

その内容についてご紹介いたしますので、町政の推進につきましまして町民みなさんのご理解とご協力をお願い致します。

平成20年奥尻町議会第1回定例会の開催にあたり、平成20年度の町政執行への基本方針と施策の概要、予算の大綱につきまして、所信の一端を申し上げます、町議会議員のみならず並びに町民みなさんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

私は、町長に就任以来、この町の厳しい行財政の中にあっ

て「どのような時代になろう

とも日本海に輝ける島」を政策の基本に、故郷再生という使命感のもと、長年の懸案事項の解決はもとより、町民のみなさんが将来に希望のもてる、この島で、この町で生活してよかった、そのことが実感のできる町、島づくりに誠心誠意、職務に取り組んでまいりました。

本年度は、私の任期、最終

年度でございます。

諸般の事情から、副町長（前は助役）をおかない不安定な町政執行体制ではございませんでしたが、町民みなさんとの対話を基調としながら「第4期奥尻町発展計画」に定められた施策の展開に努めてまいりました。

しかしながら、非常に厳しい町政事情から「奥尻町行財政改革実行プラン」の策定

を余儀なくされ、町財政の立て直しを最優先とした町づくりでもありました。

今、総括する年を迎え、私に与えられた使命と責任の重さを再認識し、町の産業振興と経済の安定に全力を傾注しながら、懸案である町立病院の経営改善、財政の健全化など、改革改善に積極的に取り組み、全力で町づくりを進めてまいりる決意であります。

以上のことを踏まえて、平成20年度の町政執行における基本方向と施策の概要を申し上げます。

地方財政を取り巻く環境

はじめに、地方財政を取り巻く環境についてであります。

国が示す、平成20年度予算編成方針においては、地方財政の安定すなわち地方の自立と再生のため、国の取り組みに歩調を合わせることを、これまで以上に強く求めています。

歳出においては人件費、投資的経費、行政経費の各分野にわたり厳しく抑制を図るとともに、歳入においても地方税の安定的確保や地方交付税等一般財源の慎重な対応を求めています。

一方、地方公共団体間での財政力格差の実態を踏まえ、税源の偏在是正についての具体策として「ふるさと」に対する納税者の貢献や、かかわりの深い地域への応援を可能とする税制上の具体策について検討にも入ったところであります。

方重視への風を感じているところでもあります。このような国の方向を注視し、財政の健全性確保に留意しつつ、緊急の課題である町の再生に向け、知恵と工夫を生かした産業振興や地域活性化策、また生活の安全、安心の確保等施策の重点的展開を求めることといたします。

行財政改革実行プランの進捗状況

同時に、行財政改革実行プランに明示した数値目標の達成に向け、同プランに基づく取り組みを進めなければならず、公共サービスのあり方等さらなる行政改革が必要と考えます。

では、職員退職後の採用は原則行わない方向として、平成21年までの一般職15人の減員を見込んでおります。

このような全町挙げての行財政改革は着実に成果を上げており、行財政改革実行プランの最終年次であります21年度末での不足すると見込まれる額は1億6千5百万円にまで縮めることが可能となったところであります。

次に、行財政改革実行プランの進捗状況についてでございます。

表し、平成21年度までの収支の改善、改革内容を移動町長室の開催等をもって、みなさんにもご説明し、理解と協力を求めています。

5%）など。また、行政組織改革においては、副町長（当時は助役）は当面置かないこととし、大課制（8課制から4課制）への移行など。

また、町債残高においても最終年次である21年度末では69億5千万円で、計画通り縮減ができる見込みにあります。

私は、就任当初、93億円になろうとする町債残高、3億円にも満たない町財政調整積立基金は極めて厳しい財政状況であることに強い危機感を覚え、財政の立て直しこそが私に与えられた最大の責務、仕事であろうと判断をし、取り組むことを発表いたしました。

主な内容として人件費対策においては、議員報酬1割削減、町長給与2割削減、医師給与1割以内削減など特別職の報酬見直し、職員給与6%独自削減（20年度からは4・

また、町民からの協力負担面では、各会館等施設の使用料において平均10%の引き上げ、各種住民検診での自己負担の適用など。

また、職員定員管理にまいります。

私は、今後とも町民みなさんのご協力をいただきながら、改革・改善の姿勢を崩すことなく、町政の執行に努めてまいります。

また、職員定員管理にまいります。

また、職員定員管理にまいります。

また、職員定員管理にまいります。

少しは、地方への配慮、地

また、職員定員管理にまいります。

また、職員定員管理にまいります。

また、職員定員管理にまいります。

具体的事務事業等

それでは、具体的事務事業等についてご説明をいたします。

快適、安心のできる福祉の充実

③ 島の発展を支える社会

基盤の整備

④ 内外に誇れる、安心・

安全な生活環境づくり

⑤ 町の誇りと愛着を育む

教育の充実

具体的事務事業等につきましては、これまでと同じく、施策の重点化・体系化を図る観点から大きな柱として

① 活力に満ちた豊かな町

づくりの基本となる産

業の振興

② 町のみなさんが健康で

以上、5つの項目を重点目標といたします。

漁業について

具体的には、漁業では漁業

全体の振興並びに高級食材と

して需要増が著しい「海の黒

ダイヤ・ナマコ」を島の新た

な魚種として育成するため、

北海道庁とともに取り組むほ

か、大型魚礁ヤリイカ産卵礁

の設置継続を要望いたします。

また、ウニの深淺移植にお

いては離島漁業再生支援交付

金を活用し継続実施すること

とし、漁港等整備ではマリ

ビジョン指定漁港・青苗漁港

の耐震岸壁、稲穂漁港の外防

波堤ブロック設置、勘太浜漁

港の北防波堤高上げを予定い

たします。

また、野名前船揚場波除堤、

東風泊船揚場斜路の整備を進

めることといたします。

「あわび種育苗センター」

の運営計画については、施設の主目的である種苗生産を基本としながらも、生貝生産販売策として「アワビ」のオーナー制度の導入など運営経費の確保に努め、加えて、前段の「ナマコ」育成漁業の拠点として施設全体の活用を図ることといたします。

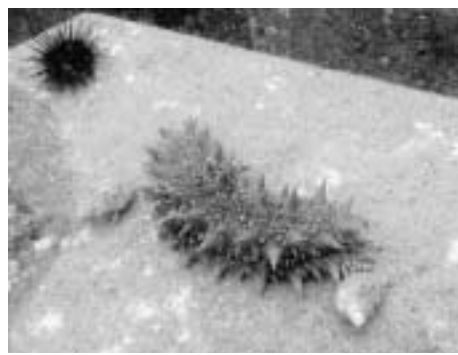
培農家を支援し、島内で消費する野菜は島内で栽培することを目標に、「野菜の市」開設などのいわゆる地産地消運動を奨励します。

また、牛飼育農家での飼育頭数拡大を支援し、奥尻和牛のブランド化と国営草地の効率的利用に努めます。

また、農業生産法人による「ぶどう栽培・ワインづくり」が始まります。

島でのワインづくり、わが国の離島では初めてのことでありましよう。

農業のみならず観光振興、さらには雇用機会の拡大等、島の発展に大きく貢献されるものと期待をし、可能な限りの支援をすることといたします。



▶期待される
「海の黒ダイヤ・ナマコ」

農業について

農業では、おいしい米「ふっくりんこ」やアスパラガス裁

離島で初めてのワインづくりへ……



1 活力に満ちた豊かな町づくりの基本となる産業の振興

一点目の活力に満ちた豊かな町づくりの基本となる産業の振興についてでございます。

漁業、農業など第一次産業

の再生なくして、島の発展は

ありえない。

その原点到り、安全・安心な食を提供できる島として

のイメージを高め、とくに

「ナマコ栽培モデル漁業」や

「ぶどう・ワインづくり農業」

「観光客倍增プロジェクト・

自然、食がもてなす奥尻観光」

との連携を持って、産業全体

の活性化を図ることといたします。

ます。

ます。

観光振興 に つ い て

観光振興では、昨年度組織化された「地域再生プロジェクト推進協議会」が進める「奥尻島観光客倍増プロジェクト」に予定された「奥尻島の四季、旬の食づくり・PR事業」や「観光人材育成事業」を支援いたします。

また、奥尻島観光協会が予定するうちにまる着ぐるみ出迎え事業や観光案内所開設事業に対しても引き続き助成する

▲すでに始動した奥尻島観光客倍増プロジェクト



こととし、さらには観光協会事務局体制強化のための経費について、同協会の方向性を見極めながら、必要に応じてその一部を助成することといたします。

また、「奥尻島復興キャンペーン事業」、奥尻島三大祭開催経費については、引き続き助成することとし、とくに、復興キャンペーン事業については次年度以降の必要性を判断するための検証する年度でもあります。

商工業について

商工業については、足腰の強い商工業者の育成と商工業全体の経営安定に資するため、奥尻商工会への運営費を助成いたします。

また、水産加工業への進出企業製品販売等を支援し、「食の観光奥尻PR事業」との連携を強めることといたします。

② 町のみなさんが健康で快適、安心のできる福祉の充実

次に、町のみなさんが健康で快適、安心できる福祉の充実についてでございます。

誰もが健康で安心して暮らせることができる環境を整えるため「保健・医療・福祉」の連携を基本として、福祉施策の総合的な取り組みに努めてまいります。

母子・児童福祉について

具体的には、母子・児童福祉関係での妊婦検診及び乳児検診、さらには島外での妊婦検診時に負担される交通費等一部助成を行うことといたします。

また、保健師活動事業での妊婦訪問、新生児訪問、乳幼児相談等は継続し取り組むことといたします。

といたします。

なお、島外での妊婦検診時交通費負担についてはこれまで北海道に要望いたしておりましたが、離島の地理的不便性を考慮され、昨年10月から町事業費の一部に支援する制度が設けられたところであります。

また、児童生徒の医療費助成策の拡充については、北海道が予定する支援策が示されたなら前向きに検討することといたします。

また、東風泊へき地保育所については奥尻幼稚園との一体的運営方針を基本に「認定こども園」などの整備について検討することといたします。

障がい者福祉では、重度心身障がい者医療費助成等、障がい者自立支援法に基づく施策を進めてまいります。

高齢者福祉では、高齢者の自立や健康な生活を促す、サポート体制の充実を基本として「地域包括支援センター」を拠点に、一つには地域ネットワークの充実・強化、一つには地域サポートの充実、一つには保健・医療スタッフのネットワーク化を重点項目として取り組みます。

また、本年4月からスタートされます後期高齢者医療制度では、生活習慣病対策として「特定健康診査・特定保健指導」が大きな柱となっておりますが、この制度への理解がありませんが、この制度への理解と「受診率」及び「改善率」の向上に努めることといたします。

なお、本年度は「老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定年でもあります。

厳しい財政事情ではありますが、より質の高いサービスのあり方について検討すること（6ページへ続く）

障がい者・高齢者福祉について

(5ページからの続き)

といたします。

また、敬老を祝う会につきましても、73歳以上のみなさんを対象として開催することといたします。

国民健康保険事業会計では、保険税の引き下げを行うことといたします。

この判断は、とくに、同事業会計の収支見通し及び75歳以上の高齢者のみなさんが新たな組織「北海道後期高齢者医療広域連合組合」へ移行することによる老人保健拠出金の軽減等によるものであります。

医療について

医療の確保では、町立病院を核に同病院での一次医療の確保と専門的医療や救急患者の対応については、道立江差病院や函館市立病院などとの連携を強め、医療不安の解消に可能な限り努めます。

なお、全国的に医師の確保が困難を極めている現状にあつて、本町の一般医師3名体制は人的な面においては恵まれた環境にあるといえます。

それぞれの医師がこの島の医療実態に理解を示され、献身的医療提供に努めておられますことに敬意と感謝を申し上げます。

なお、これからの医療スタッフ、とくに、医師においては、医師が常駐するのが当たり前、医師の確保は首長だけの責任、そうあつては過疎地、離島には医師の赴任は不可能に近くなります。

島の医療、医師の確保は地域で、町民みなさんで守る、支える、その思いの共通認識こそが必要と考えます。今、「奥尻町地域医療を考える会」で検討が始まりました。

この町の医療のより良い方向性を求めるため、私は首長として先頭に立ちますが、どうぞみなさんのご協力ご支援をお願いいたします。

③ 島の発展を支える社会基盤の整備



▲「長浜新道路」の早期整備が期待される長浜地区

次に、島の発展を支える社会基盤の整備についてでございます。

島の恵まれた自然と調和できる生活環境の整備を目標に、道道奥尻島線や奥尻港湾の整備等を進めます。

道道奥尻島線について

具体的には、島民の生活・観光・産業等を支える島唯一

継続し、また、「奥尻港マリントウン構想」については同構想が策定されてから15年を経過し、港を取り巻く社会情勢の変化や新たなニーズに対応できる港湾整備が求められてもおります。

とくに、防災緑地地区や観光客との交流ゾーンであるフェリーターミナル付近の南地区のあり方について、昨年末設置された「奥尻港南地区整備検討会」とともに、本年度末を目標に新たな奥尻港の将来像を創り上げたいと考えております。

▲着々と整備が進む奥尻港の北新漁港区



奥尻港について

また、島の玄関口奥尻港の整備では北新漁港区の整備を

4 内外に誇れる、安心・安全な生活環境づくり

次に、内外に誇れる安心・安全な生活環境づくりについてでございます。

島の優れた自然を守り、災害に強い安心・安全かつ清潔で住みよい町づくりに努めます。

交通安全



交通事故死ゼロの日2千日達成パレード

防災対策では、「災害に強い町づくり」をスローガンに、自主的な参加による防災訓練を予定し、防災消防組織の充実はもとより、町民防災意識の高揚に努めます。

なお、本年6月には、檜山管内消防総合訓練大会が開催される予定にあります。

防災対策

具体的には、交通安全運動では「悲惨な事故にあわない・あわせない町民総ぐるみ運動」を合い言葉として、交通安全協会、各町内会や各関係機関との連携の下、安全運転の励行や飲酒運転の根絶等の啓発活動、交通安全旗掲出活動等を通じて「交通事故死ゼロの日」を更新し続けることを、わが町の大きな目標といたします。

廃棄物対策



◀災害に強い町を目指し

廃棄物対策では、昨年秋、稼動いたしました「一般廃棄物最終処分場」をもって島のゴミ処理体制は一応整いました。島であるわが町、ゴミ問題は今後とも大きな町の課題、テーマでもありましよう。施設を一日でも長く使用するため、ゴミの量を減らす運動、空き缶のポイ捨て、不法

▶昨年稼働した一般廃棄物最終処分場



この判断は、行政のスリム化や職員の削減いわゆる退職職員の原則不補充の方針に基づくものであり、人員適正化計画にあわせ、さらには町行財

定住者・移住者対策



◀環境センター

政改革実行プランが求める年間委託経費の削減を図るものでもあります。

定住者、移住者対策では、北海道移住促進協議会に継続加入し、さらに町ホームページでの民間空き家情報や求人情報等の発信、相談等積極的に対応することといたします。

5 町の誇りと愛着を育む 教育の充実

次に、町の誇りと愛着を育む教育の充実であります。

教育について

島づくりの基本は「人づくり」。

命の大切さ、他人を思いやる心を育む道徳教育の必要性と現状認識の上に立ち、「ふるさとに学び、街を育てる児童・生徒の育成」に教育委員会ははじめ関係機関と連携のもと推進してまいります。

また、価値観が多様化する中で町民一人ひとりが主体的に学習機会を選択し、自らを高める、生きがいの持てる地域社会の形成のための生涯学習を推進いたします。

具体的に、学校教育では家庭・地域・学校がそれぞれ連携し役割分担しながら、子ども

▲人づくりと教育の充実を
めざして



もたちがより良い環境の下で教育が受けられるよう努めてまいります。

芸術文化・ スポーツについて

芸術文化・スポーツの振興等では、町民の自主的な芸術・伝統文化活動にも積極的支援はもとより、青苗遺跡から出土した町所有の「**丁字頭（ちょうじごう）**」の科学的分析鑑定を進め、文化財としての学術的価値を確認し、郷土の貴重な文化財への関心を高めてまいります。

また、各種スポーツ愛好団体の自立を支援するほか、「健康づくり」の効果的事業の推進に努めます。



▶各種スポーツ団体の自立を支援します

▶貴重な勾玉の学術的価値を確認します



本年度の予算編成

次に、本年度の予算編成についてであります。

国等における地方財政を取り巻く情勢は前段申し述べたとおりであります。現下の極めて厳しい地方財政の状況

国・地方の歳入歳出一体改革の方向を踏まえるに、歳入においては、税収入はもとより受益者負担の適正化による財

源確保に努める一方、歳出においても、その構造までも踏み込んで厳しく見直し、財政の健全化に一層努める必要があります。

さらには、各種施策の優先順位と選択、また、節度ある財政運営の確立を求めた予算編成となったところであります。

結果として、一般会計予算 33億1千45万2千円並びに14の特別会計は20億2千610万6千円、総額では53億3千655万8千円を予定し、前年度比として一般会計でマイナス4・3%、総額においてはマイナス9・7%になったところであります。

予算規模としては昨年に引

引き続き、平成5年の大地震前を下回る緊縮予算であり、歳出の主な減少内容では、ゴミ処理場の完了による減、定年退職者7名の原則不補充と職員給料4・5%独自削減、集中改革プランに基づく物件費の継続的見直しの減、神威脇温泉保養所管理形態の指定管理者制度への移行等によるものであります。

また、予定する公共的事業としては、船揚場施設整備2箇所、港湾海岸整備事業、農業生産法人が事業主体となる「ワイン工場」整備事業等を予定いたしましたところであります。

なお、不足する財源については、財政調整積立基金2千6百万円を取り崩し充てることとし、平成20年度末での基金残高は、備荒資金超過分を合わせても1億2百万円、今後の財政運営はなお一層厳しいものであり、さらなる事務事業の見直しや効率的な行財政に取り組むことはもとより、町立国保病院の経営改善に努めなければなりません。

なお、同病院会計においては、平成13年度末までに発生した不良債権2億9千4百万円を病院事業健全化計画の下、一般会計からの繰入金をもって、平成18年度までにすべて解消したところでありますが病院事業会計はなお厳しい実態にあります。

このため、去る1月「奥尻町地域医療を考える会」を発足させ、離島医療確保の方向と経営のあり方等について早急な検討をお願いしたところ



であります。

しかしながら離島という限られた医療圏域にある病院事業会計は、今後も不良債務の発生は避けることができないものと考えておりますが、その際は、さらなる不良債務解消策を求め、仮にも財政再生団体に陥ることのない財政運営に全力を尽くす所存でありますので、厳しい財政事情にある現実を是非ご理解いただきますようお願い申し上げます。

おわりに...

以上、町政の執行に対する基本方針と主な施策の概要を申し上げます。

国は、自己責任、自己決定による地域づくりを求め、そのための権限移譲、地方分権改革の必要性を強調されますが、財源の伴わない地方改革は地方切捨てに近く、小規模自治体は存亡の危機でもあります。

しかし、立ち止まるわけにはいきません。

積極的に行動し、立ち上がる事が大事であると考えます。この時代こそ、「島だから」を内外に発信し、島はひとつ、運命共同体として協調性と島自体を総合的な発想を持って行動することこそが活路を見出す道でもあり、本来の意味での分権社会の形成、地方

の時代の姿でもあらうと考えます。

私は、行き先不透明な、困難なこの時代に町政を託されたことを宿命であるう心に強く刻み、一意専心の思いで望む所存であります。議員並びに町民皆様のご理解とご協力をいただきますようお願いを申し上げます、私の施政方針いたします。

3月の町長の動向

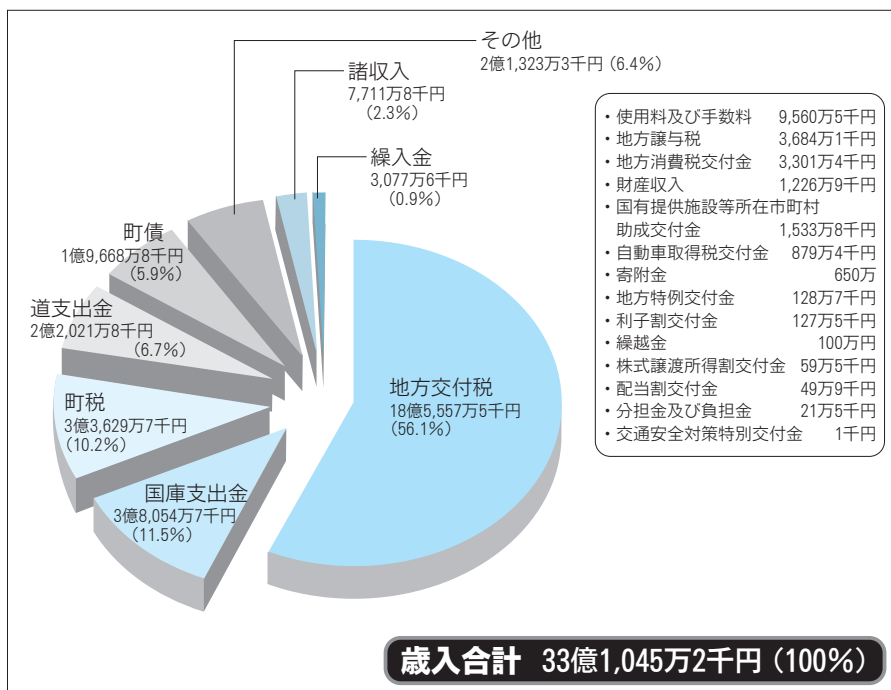


- 1日 北海道奥尻高等学校卒業証書授与式
- 6日 第1回奥尻町議会定例会（12日）
- 9日 奥尻町武道大会（剣道大会）
- 14日 青田中学校卒業式
- 16日 いっまでも元氣大会
- 18日 平成19年度南檜山地域保健医療福祉推進協議会定例会（江差町）
- 19日 町内会連合会総会
- 20日 奥尻小学校卒業式
- 21日 宮津小学校卒業式
- 24日 東風泊へき地保育所卒園式／行政改革懇談会
- 25日 道道に関する打ち合わせ
- 27日 奥尻町地方港湾審議会
- 31日 辞令交付式／第2回奥尻町議会臨時会

さいふ 財布の中身は？

一般会計 歳入

(入ってくるお金の内訳)



平成20年度の奥尻町の一般会計・特別会計は、3月6日から12日まで開催された「平成20年第1回奥尻町議会定例会」で審議され、原案どおり可決成立しました。

依然として町財政は大変厳しい局面が続いておりますが、今後も町民みなさんのご理解とご協力をお願いします。

歳入

平成20年度奥尻町の予算総額は53億3千655万8千円で、このうち一般会計は33億1千45万2千円、バス交通事業など13事業の特別会計は20億2千610万6千円となっています。

一般会計予算の歳入(入ってくるお金)の内訳を円グラフで見ますと、地方交付税が

各特別会計の予算額

会計名	予算額	
バス交通事業	78,327千円	
自動車整備工場事業	96,323千円	
あわび種苗育成センター事業	44,527千円	
国民健康保険事業	445,593千円	
国民健康保険直営診療所事業	40,225千円	
老人保健医療事業	35,578千円	
後期高齢者医療事業	35,692千円	
介護保険事業	211,915千円	
介護保険介護サービス事業	14,480千円	
簡易水道事業	53,948千円	
港湾用地造成事業	30,342千円	
公共下水道事業	140,081千円	
漁業集落排水事業	26,476千円	
国民健康保険病院事業	収益的	763,243千円
	資本的	9,356千円
合計	2,026,106千円	
一般会計	3,310,452千円	
総合計	5,336,558千円	

56・1パーセントと全体の半分以上を占め、次いで国庫支出金11・5パーセント、町税10・2パーセントと続いています。

また、私たちの暮らしの上で直接的に関わりの深い13事業の各特別会計の予算は次表のとおりですが、厳しい運営の特別会計には一般会計からの繰出金が措置され、私たちの暮らしの安定が図られています。

総予算 53億3千655万8千円

一般会計 33億1千45万2千円

特別会計 20億2千610万6千円

平成20年度

奥尻町の

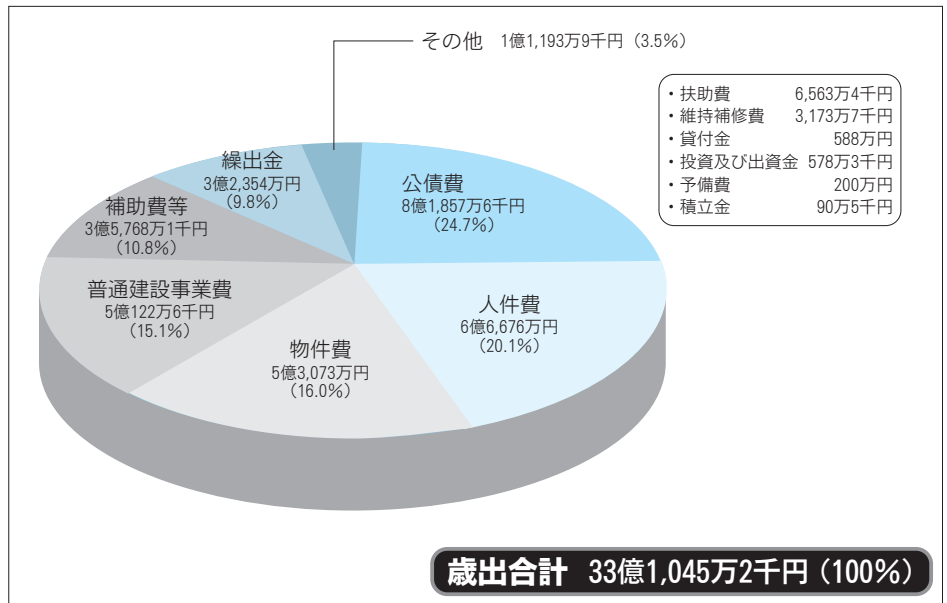
歳出

(性質別)

予算からみる奥尻町の財政

一般会計 歳出

(使われるお金の性質別内訳)

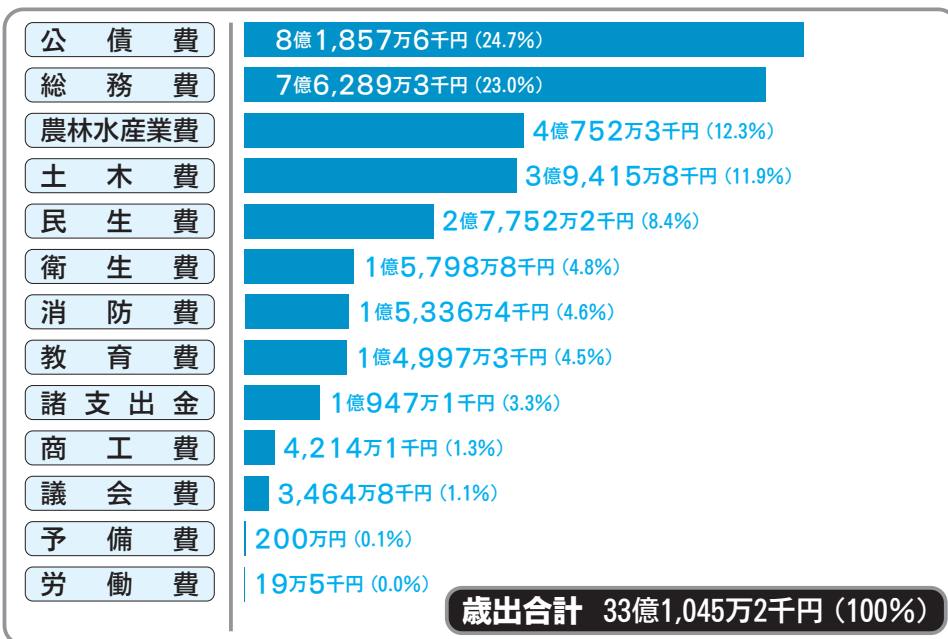


一般会計予算の歳出(使われるお金)の性質別の内訳を円グラフで見ますと、公債費が24・7パーセントと依然として最も多く、次いで人件費20・1パーセント、物件費16パーセントと続いています。

公債費の予算額を比較すると、昨年度の割合は25・1パーセントでしたが今年度の割合は24・7パーセントで、昨年度よりも割合がやや減少となっており、厳しい財政状況の中にも、財政の効率化と健全化の工夫がみられています。

一般会計 歳出

(使われるお金の目的別内訳)



歳出

(目的別)

一般会計予算の歳出(使われるお金)の目的別の内訳を棒グラフで見ますと、こちらも公債費が最も多く24・7パーセントで、次いで総務費23パーセント、農林水産業費12・3パーセント、土木費11・9パーセントと続いています。



平成20年度

教育行政執行方針

奥尻町教育委員会

教育長 石島 孝司

3月6日から12日にかけて開催されました「平成20年第1回奥尻町議会定例会」で、石島教育長の平成20年度における「教育行政執行方針」が行われました。
その内容についてご紹介いたしますので、教育行政の推進につきまして町民みなさんのご理解とご協力をお願い致します。

はじめに

平成20年第1回奥尻町議会定例会の開会にあたり、奥尻町教育委員会の所管行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

今日、我が国の社会状況は、国際化、情報化、少子高齢化などの大きな変化を背景に、地域間格差や深刻な環境問題、

食の安全などといった大きな社会問題が発生し、規範意識や倫理観の低下が、信じがたい事件の続発につながっております。

教育を取り巻く状況においても、学ぶ意欲や学力の低下が問題とされるとともに、命の尊厳や他人への思いやりの心が軽視され、いじめが原因

による痛ましい事故なども起きております。

また、昨年実施された全国学力・学習状況調査や経済協力開発機構（OECD）の国際学習到達度調査（PIISA）などの学力調査結果などから、「学力」についてさまざまな課題が提起され、国における教育再生会議や中央教育審議会等においても、これまでの公教育を見直す取り組みがなされてきております。

とくに、今年2月に学習指導要領の改訂案が公表され、

その内容は「ゆとり教育」の見直しがなされながらも、「生きる力」の理念を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視した施策の検討が求められております。

教育委員会といたしましては、奥尻町の教育目標である「ふるさとに学び、町を育てる児童・生徒の育成」をめざし、なお一層保護者や地域住民に信頼され、主体性を発揮した教育行政の推進に努めてまいります。

学校教育について

次に、主な施策のうち、はじめに、学校教育について申し上げます。

1 信頼される学校づくり

第一は、「信頼される学校づくり」についてであります。

地域に開かれ、信頼される学校を実現するためには、学校が自らの教育活動について積極的に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民の意見や要望を真摯に受け止め、創意工夫を生かした特色ある学校づくりをとに進めることが大切であります。

これまでも、各学校においては、自己評価や外部アンケートを実施し、保護者や地域住民に、きめ細かく学校の教育活動の状況について情報を提供してきましたが、今後は、

中長期的な経営ビジョンを示し、全教職員にその具現化に向けた共同意識を高め、活力ある教育活動を促し、教育の質の向上、学校力の向上を図るためにも、外部評価の公表を通して、保護者や地域住民が、学校とともに学校教育上の課題解決を図り、学校づくりを進めることが重要であります。

こうした考え方に立って学校運営を行うとともに、各校の学校評議員や保護者・地域住民からご意見をお聞きし、開かれた学校づくりを推進してまいります。

2 教職員の資質能力の向上

第二は、「教職員の資質能力の向上」についてであります。

教育は人づくりと言われ、学校教育の成否は子どもを直接指導する教師にかかっていると言っても過言ではありません。

各学校においては授業研究を中心とした校内研修など、教職員の指導力の向上に努めておりますが、保護者や地域住民からの揺るぎのない信頼を確立するためには、絶えず研究と修養に励み、自己の資質と能力の一層の向上に努め、教職員一人ひとりの資質能力を高めることが重要であります。

このため、各校長の経営方針のもと、これまでの校内研究の成果と課題を明確にし、子どもの学習状況や学校の実態を踏まえた、学校の教育目標の実現に結びつくような、校内研修の推進に努めてまいります。

また、教職員一人ひとりが、自らのライフステージや学校の年間計画を見通した校内・校外の研修計画を作成し実施することにより、教職に対する使命感や責任感、専門性の

向上を図ることも有効であることから、このことを踏まえさらに効果的な研修の実施に努めてまいります。

3 服務規律の保持

第三は、「服務規律の保持」についてであります。

学校職員の服務規律の保持と不祥事防止については、これまで機会あるごとに指導の徹底を図ってきたところですが、今年、管内の小中学校において事務職員の公金着服にからんでの殺人事件が発生したことは、記憶に新しいところでもあります。

このことは、学校教育に対する保護者や地域の方々の信頼を著しく損なうものであり、断じて許されるものではありません。

教育は、子どもたちの人格の完成を目指すという崇高な使命を持っています。教職員は、児童生徒の直接の担い手であり、高い倫理観と使命感が求められています。

保護者からの信頼を確かなものとするためにも、「教職員の服務ハンドブック」や「不祥事防止パンフレット」などの各種校内研修資料を積極的に活用し、教職員一人ひとりの規範意識を高め、学校における不祥事の根絶に取り組んでまいります。

4 確かな学力の育成

第四は、「確かな学力の育成」についてであります。

子どもたち一人ひとりの知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力などの「確かな学力」を育成していくためには、教科の指導はもとより体験的な学習や問題解決的な学習を推進して、自主

的、自発的な学習を充実することが重要であります。(14ページへ続く)

(13ページからの続き)

昨年実施された全国学力・学習状況調査の結果で、算数・数学に関しては「授業がわからない」と回答した児童生徒数の割合が、約半数を占めていることから、基礎・基本の定着を図る指導の徹底はもちろんで、全ての教科において「わかる授業」の展開をするとともに、学習意欲を高める指導の充実に向けてまいります。

また、学習指導要領の改訂に伴う、今後の移行措置に関する内容に注視しながら、新学習指導要領の確実な定着に向けた取り組みを進めてまいります。

さらに、平成19年度から本格実施となった特別支援教育の円滑な推進に向け、「奥尻町特別支援教育連絡協議会」を立ち上げ、支援の体制整備を図ったところであります。

今後これら組織を生かし、特別な教育的支援を必要とする子どもたち一人ひとりの実態を把握し、個別の指導計画や支援計画に基づいた、

きめ細かな指導の充実に努めてまいります。

5 豊かな心を育てる教育の推進

第五は、「豊かな心を育てる教育の推進」についてであります。

子どもたちによる問題行動が全国的に大きな課題となっておりませんが、子どもたちに生命を大切にすることを思いやる心、美しいものや自然に感動する心、公共心や規範意識などをしっかり育むためには、人とのふれあいを重視した教育活動が極めて重要です。

このため、学校における道徳教育の一層の充実を図るとともに、家庭でのしつけ、地域における自然体験やボランティア活動など様々な活動と関連させ、地域住民の参加や協力を求めながら、家庭や地域とともに道徳教育を推進してまいります。

いじめは、いつでもどこでも起こり得る状況にあることから、これまでもいじめが把握された場合の直接指導や初期の対応が重要であること、一人の教員に任せるのではなく組織としての対応が必要であること、いじめかどうか判断としないからといって対応

社会教育について

次に、社会教育について申し上げます。

平成15年度に策定された「社会教育5カ年計画」を基に、各種事業に取り組んできましたが、最終年度を迎えるにあたり、過去5カ年の反省と評価をふまえ、平成20年度以降の計画策定に取り組んでいるところですが、推進の重点である、第一「自発的に参

加し、学び、地域の活性化を図る社会教育活動」、第二「自然と文化を活かし、豊かな心を育てる地域文化の創造」、第三「健康で充実した

をためらっていないか?など、機会あるごとに指導を行っております。

今後も、豊かな人間関係を育てる指導を推進し、いじめを生まない学校・集団づくりに向け、子ども一人ひとりに対する日常的な指導の強化を図ってまいります。

教育環境も変わりつつあります。

このような現状を踏まえ、町民一人ひとりが生涯にわたって充実した生活を営むことができる社会の実現に向け、町民の学習ニーズの新たな掘り起こしや、生涯学習を推進する指導者の発掘など、人材育成を進めるとともに学習機会の提供に努めてまいります。

また、近年、子どもたちの生活環境も情報メディアのもたらす影響から複雑化してきておりますが、将来を担う心豊かな人間性とたくましさを持つ「奥尻っ子」を育むためには、家庭での教育はもちろん、地域の人々のご理解とご協力が必要不可欠であり、その力は大きいものがあります。

1 社会教育の充実

第一は、「社会教育の充実」についてであります。

目まぐるしく変化する社会情勢にあって、本町においても、少子・高齢化に加え人口が減少傾向にあるなど、社会

このため、各関係機関や団体等との連携を密にし、学習情報の収集や提供に努めるとともに、海洋研修センターなど、社会教育関連施設の一層の有効利用を促進し、社会教育関係団体の育成に取り組んでまいります。

2 文化の振興

第二は、「文化の振興」についてであります。

芸術・文化に触れ合うことは、人々がゆとりと潤いのある生活を実現していく上で大きな力となるものであります。

このため、既存の文化団体やサークル等への支援・育成に努めるとともに、新たな団体や指導者の発掘に向け、情報収集や関係機関との一層の連携に努めてまいります。

伝統芸能であります「奥尻祈漁太鼓」の保存・伝承については、奥尻中学校の生徒が



◀奥尻祈漁太鼓の保存伝承

有志を募り受け継いでおりますが、生徒数の減少から早期の対策が必要であると考えております。

文化財の保護・活用では、

オホーツク文化の存在を示す「青苗砂丘遺跡」が、その重要性からこの度、道の指定史跡に決定され、奥尻町では「新羅の記録」に次ぐ、2件目の「北海道指定文化財」となりました。

また、青苗遺跡から出土しました「勾玉類」については、その希少価値については周知の認めるところであります。発掘当時の文献の準備から、公の目に触れることなく現在に至っております。

このことは誠に残念なことであり、町民の文化財に対する意識の高揚を図るため、また観光PRにも少しでも役立つよう、年次計画を立て公開できるように取り組んでまいります。

平成20年度において、「勾玉類」の科学分析委託に係る予算を計上しておりますので、よろしくお願いいたします。



▶「北海道指定文化財」となった「青苗砂丘遺跡」

3 スポーツの振興

第三は、「スポーツの振興」についてであります。

町民の体力の向上、健康の

保持増進を進める上でスポーツの果たす役割は、誠に大きいものがあります。

町民が身心ともに健康で充実した活力ある生活を送ることとは、町の活性化にもつながるものと考えます。

そのためにも、誰でも、いつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめる「環境の整備」と、生涯にわたってスポーツに親しむ「意識の啓発」に努

め、幅広く参加を呼びかけるとともに、体育協会を中心に活動をしている各愛好会、各地域のスポーツ団体との連携を密にし、生涯スポーツの充実に努めてまいります。

おわりに...

以上、学校教育、社会教育について平成20年度の教育行政執行方針について申し上げます。

内閣が代われれば教育の制度も大きく変わるといふ矢継ぎ早の教育改革が進んでおりま

すが、現下の状況をしっかりと見据えながら、地域・保護者の期待に応えてまいります。議員の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

町内入学(園)式の日程

- ◆東風泊保育所…4月10日(休) 午前10時～入所予定者5名
- ◆奥尻幼稚園…4月11日(金) 午前10時～入園予定者7名
- ◆青苗幼稚園…4月11日(金) 午前9時30分～入園予定者10名
- ◆宮津小学校…4月7日(月) 午前10時～入学予定者7名
- ◆奥尻小学校…4月7日(月) 午前10時～入学予定者8名
- ◆青苗小学校…4月7日(月) 午前10時～入学予定者19名
- ◆奥尻中学校…4月7日(月) 午後1時30分～入学予定者7名
- ◆青苗中学校…4月7日(月) 午後2時～入学予定者11名
- ◆奥尻高等学校…4月8日(火) 午前1時～入学予定者18名





黄色袋以外でも可能に

4月から透明・半透明袋

奥尻町では今までゴミ収集
について、燃やせるゴミは
「青色」、燃やせないゴミは
「赤色」、資源ゴミは「黄色」

として、それぞれ指定された
色の袋で収集（回収）をして
いましたが、今年度から始ま
る「奥尻町分別収集計画」に
より、今年4月1日から資源
ゴミの袋は市販されている透
明、または半透明の袋でも可
能になりました。

これは、資源ゴミの分別に
ついて一部で未だに守られて
いない事例があるため、資源
ゴミの中身が見えやすいよう
にすること、原油価格高騰
による袋の値上げ対策を考え
て変更したものですので、ご
理解とご協力をお願いします。
また、透明、または半透明
の袋で資源ゴミを出される場

合は、収集時に破れない袋を
使用されるよう、また、中身
が確認できないような袋は回

必ず守ってください

ゴミ収集のルール

最近、ゴミの収集（回収）
で、ゴミをきちんと分別され
ずに出される方が一部で見受
けられます。

とくに資源ゴミの収集時に
資源ゴミ以外のものが混入さ
れている事例が多くあります。
例えば、資源ゴミの袋に、
鍋、トレー、サラダ油の容器、
アルミホイル、調味料や栄養
剤のびん、プラスチック製品
などが実際に入っている事例

収集しませんのでご注意ください。
なお、燃やせるゴミや燃や
せないゴミの指定袋、指定シー
ルは、今までどおりで変更が
ありません。

資源ゴミ袋の変更、または
ゴミ収集について詳しくは、
奥尻町環境センター（☎31
2747）へお問い合わせせ
ください。

がありました。これらは資
源ゴミではありません。

奥尻町で指定している資源
ゴミは、アルミ・スチール缶
ペットボトル、牛乳パック、
古新聞・古雑誌、ビールびん
のみで、これ以外のものが混
入されている場合は収集され
ませんので、必ず分別ルール
を守ってください。
なお、資源ゴミを出される
場合は、次のことに注意して

ください。



資源ゴミ以外のものが多く混入...

資源ゴミの出し方

また、次のよう
なルール違反も見



収集時やぶれない袋を出す
（参考：今の容器の厚さは0.03mmです）

※資源以外のものは入れないこと

アルミ缶、スチール缶



識別マークを確認する



異物を取り除いて、水ですすいでから出す

ペットボトル



ペットボトルマークがついているものだけ



キャップをはずし水でよくすすいでから出す

牛乳パック



水でよくすすぐ



開いてひもでしばって出す

違反とみなされる行為

- ▼ 空き缶のポイ捨て
- ▼ ゴミの不法投棄
- ▼ ゴミの野焼き
- ▼ 他人のゴミ箱へのゴミ投入
- ▼ 不法な放置車両 など

奥尻町では、そのほかに新聞、雑誌、ビールびんを回収しています。
新聞と雑誌は、ひもでしばって出してください。

平成20年の交通安全運動

平成20年中の交通安全運動の取組みは次のとおりの期間で予定されています。

奥尻町では、平成18年12月21日をもって交通事故死ゼロの日が2,000日を達成し、現在も全道で第8位の記録として更新中ですので、交通安全運動期間に限らず、交通ルールを厳守し、交通事故防止に心がけましょう。

春の全国交通安全運動

●4月6日(日)～4月15日(火)

夏の交通安全運動

●7月22日(火)～7月31日(休)

秋の全国交通安全運動

●9月21日(日)～9月30日(火)

冬の交通安全運動

●11月12日(水)～11月21日(金)



運転免許証の更新 お忘れなく!!

平成20年度の「自動車運転免許証更新時講習」が次のとおり毎月予定されていますので、該当者は忘れずに受講しましょう。

運転免許証の更新手続きは、誕生日の1カ月前から誕生日の1カ月後までの間で、江差警察署奥尻駐在所(☎2-2016)でできますので、手続きを済ませてから受講してください。

なお、詳しくは最寄りの駐在所、または奥尻町交通安全協会(☎2-2774)へお問い合わせください。

平成20年度 自動車運転免許証更新時講習日程表

年	月	日	曜
20年	4	9	水
	5	14	水
	6	11	水
	7	9	水
	8	14	木
	9	10	水
	10	8	水
	11	12	水
21年	1	14	水
	2	12	木
	3	11	水

【会場】
奥尻町海洋研修センター
(奥尻町字奥尻314番地)
(☎01397-2-3890)

【時間】
●違反講習…9:30～11:30
●優良講習…13:00～13:30
●一般講習…13:40～14:40
●初回講習…14:50～16:50

※日時や場所については変更となる場合もありますので、事前に確認してください。

税額を少なく申告したこと
に気付いたときは「修正申告書」を提出して正しい税額に修正してください。
また、確定申告書を提出しなければならぬのに申告を忘れていたときは、速やかに確定申告書を提出してください。
なお、詳しくは江差税務署(☎01391521007)へお問い合わせください。

ともにも16日からオープン

佐藤義則野球展示室

後5時までですが、毎週火曜日が休館日です。

奥尻町出身の元プロ野球選手・佐藤義則さん(前北海道日本ハムファイターズ1軍投手コーチ)の偉業を展示した「佐藤義則野球展示室」(うにまるパークセンター2階)が、4月16日(水)から10月31日(予定)まで開館します。

今年から施設の維持管理や展示内容の充実を図るため「募金箱」を設けますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願いいたします。展示室について詳しくは役場総務課政策推進係(☎2-3403)へお問い合わせください。



佐藤義則野球展示室

ファミリーパーク

赤石地区の「ファミリーパーク」(付帯施設を含む)が、4月16日(水)から10月31日(予定)まで開園します。

開園時間は午前9時から午後5時までですが、毎週火曜日が休園日です。
また、テニスコートは午前9時から午後5時まで無料で開放しています。
なお、テニスコートの使用希望やファミリーパークについて詳しくは役場産業建設課農林係(☎2-3411)、またはファミリーパーク管理室(☎2-3438)へお問い合わせください。

確定申告の誤りは…

確定申告書を提出した後で計算誤りや申告漏れなど、申告内容に誤りがあることに気付いたり、うっかり確定申告書の提出を忘れている方はいないか、もう一度ご確認をしてください。

4月の専門医の出張診療日

病院では、患者さんのために次のとおり専門医の出張診療を予定していますので、症状のある方はぜひ一度受診ください。

なお、出張診療日程についてはあくまでも予定日で、専門医や交通機関等の都合により変更となる場合がありますのでご注意ください。

耳鼻咽喉科診療

- ▶ 4月17日(木) 受付 午後1時30分～2時30分
- ▶ 4月18日(金) 受付 午前8時30分～2時30分

消化器内科診療

- ▶ 4月18日(金) 受付 午後1時30分～

矯正歯科診療

- ▶ 4月25日(金) 午後1時～予約必要

平成20年度納税期一覧

今年各税金の納期は次のとおりです。
なお、期限は各期の月末までですので、忘れずに必ず納めましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
固定資産税		1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期		
町・道民税			1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	
国民健康保険税				1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期

7月に北海道洞爺湖サミット

警備への2つのお願い

～北の大地に世界の視線 総力挙げて サミット警備～

- ①日本海沿岸からの密入国による国際テロ防止のため、海上・海岸線での不審船や不審者の通報をお願いします。
- ②塩酸・硫酸・硝酸などは、テロリストによる手製爆弾の材料となる商品ですので、保管や管理に十分な注意をお願いします。

江差警察署 ☎0139-52-0110



試験

労働基準監督官

労働基準関係法令に基づき次のとおり「労働基準監督官採用試験」を行いますので、希望者は受験ください。

資格 ①昭和54年4月2日から62年4月1日生まれの方 ②62年4月2日以降生まれで次の方(1)大学を卒業した方及び平成21年3月までに卒業見込みの方(2)人事院が掲げる同等の方

資格があると認める方
採用 ▼労働基準監督官A(法文系) 約75名 ▼労働基準監督官B(理工系) 約25名
試験 ▼第1次6月15日(日)教養試験(多枝選択式)・専門試験(多枝選択式・記述式) ▼第2次7月29日(火)・30日(水)(人物試験・身体検査・身体測定)(合格発表8月29日(金))
受付 平成20年4月14日(月)まで ※受験案内、申込み及び詳しくは函館労働基準監督署(☎0138-23-1276)へお問い合わせください。

北海道警察官

北海道警察では、次のとおり「平成20年度第1回北海道警察官採用試験」を行いますので、希望者は受験してください。

資格 ①A区分Ⅱ大学(短期大学除く)を卒業及び平成21年3月までに卒業見込みの方(昭和51年4月2日から62年4月1日までに生まれた方) ②B区分ⅡA区分以外の方(昭和50年10月2日から平成2年10月1日までに生まれた方)

月1日までに生まれた方)
※B区分については平成20年10月の採用に依りられる方
採用 ▼A区分Ⅱ男性150名、女性40名 ▼B区分Ⅱ男性30名
受付 平成20年4月16日(水)まで ※受験案内、試験日、申込み及び詳しくは江差警察署業務課(☎0139-52-0110)、または町内の各駐在所へお問い合わせください。

町の人口・世帯

住民基本台帳2月末現在
 (男) 1,773人 (-1)
 (女) 1,729人 (+3)
 (計) 3,502人 (+2)
 1,675世帯 (+4)
 ()は前月末比較増減

(平成20年2月11日から3月10日まで・敬称略)

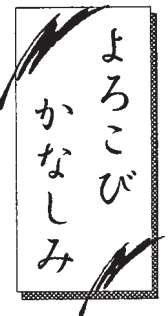


ご冥福を
お祈りします

おなまえ 金子 桃夕 公也 字青苗
 おなまえ 保護者 住所



お誕生





☆4年連続で包丁研ぎ奉仕

奥尻町技能者協会と奥尻商工会工業部会（ともに会長・三上勝広）では、町内の小・中学校と特別養護老人ホーム「おくしり荘」、教育委員会の

包丁を一斉に集め、2月16日に「包丁研ぎボランティア」を行いました。

同協会は、町内の建築・建設業をはじめ、配管業や塗装業などの資格業者で組織し、お互いの交流と技術の向上を図るかたわら、町のクリーンアップ作戦などに積極的に参加するなど、ボランティア活動を通して町や地域のために奉仕しています。

この包丁研ぎも奉仕活動の一環として今年で4年連続で行われたもので、会員11名が会長宅の作業場で、1丁1丁ていねいに磨き上げました。

なお、今回実施したのは次のとおりですが、合わせて105丁にもぼる新品同様となった包丁を返却すると、それぞれから喜びと感謝の声が寄せられていました。

- 宮津小学校 27丁
- 奥尻小学校 14丁
- 青苗小学校 22丁
- 奥尻中学校 29丁
- おくしり荘 10丁
- 教育委員会 3丁

▶奥尻中学校での受賞者への伝達式



☆優秀賞12点中5名受賞

北海道主催の「第22回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」で、奥尻町から5名の中学生が、北海道檜山支庁長賞（優秀賞）を受賞しました。

この募集は、次代を担う中学生の「税」への関心と理解を深めるために毎年実施しているもので、全道各校から多数応募がある中、檜山管内から198点（9校）が寄せられていました。

うち北海道檜山支庁長賞（優秀賞）に12点が選ばれましたが、このうち5点（5名）が奥尻町からの受賞となりました。

各学校の受賞者は次のとおりですが、3月11日に各受賞者へ賞状と副賞が伝達されています。

【北海道檜山支庁長賞（優秀賞）受賞者】

- 奥尻中学校2年 大谷 佳菜さん
- " 小林 莉奈さん
- " 松下 奈々さん
- 青苗中学校2年 安達 杏子さん
- " 松川 智哉くん



まちの話題あれこれ

☆2人の講師がナマコ講演



北海道栽培漁業振興公社主催の「漁業生産技術研修会」が3月3日に海洋研修センターで行われ、漁業者や一般合わせて43名が参加しました。

この研修会は、ナマコ研究の第一人者として活躍中の栽培水産試験場生産技術部貝類科長の酒井勇一氏による「ナマコの生態について」と、ナマコの放流技術確立のための研究を中心に活躍中の函館水産試験場調査研究部主任研究員の赤池章一氏による「ナマコ資源増大推進事業について」と題してそれぞれ講演が行われました。

なお、参加したナマコ着業者などの漁業者、また一般の参加者たちは、「ナマコについて知らないことも多かったので勉強になった」と、参加して満足な様子でした。

お わ ひ

広報「おくしり」3月号（No480）中で、次のとおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。




◎7ページ「平成20年度奥尻町年間行事予定」の「6月29日・檜山管内消防総合訓練大会」の場所
Ⓜ 奥小グラウンド Ⓨ 奥中グラウンド

◎9ページ「町の話」・「わが家のアイドル」のお子さんの氏名
Ⓜ 阿部 愛美（あいみ）ちゃん Ⓨ 阿部 愛海（あいみ）ちゃん

※なお、今月号の「わが家のアイドル」については、「施政・執行方針特集号」につきお休みとさせていただきますので、ご了承ください。

平成20年

4月 わが町のカレンダー

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
3/30 	3/31 	1 友引 新年度、新学期、新入学 エイプリルフール ⑧ 江差定期航路2便体制 (~12月28日) ⑨ 航空機ダイヤ改正 (~5月3日) ⑩ 資源ゴミ指定袋変更 ⑪ スクールバス運休(~6日)	2 先負 ⑨ 黄(南) ⑩ 赤(北)	3 仏滅 	4 大安 	5 赤口 役場閉庁日
6 先負  春の全国交通安全運動(~15日)	7 仏滅 世界保健デー ⑫ 各小学校入学式 (10:00~各校) ⑬ 各中学校入学式 (13:30~奥中) (14:00~青中) ⑭ スクールバス運行開始	8 大安 花まつり ⑮ 予防接種 (12:30~母子)	9 赤口 世界海の日 ⑯ 自動車運転免許更新時講習 (9:30~海セ) ⑰ 本の読み聞かせ (14:00~海セ)	10 先勝 ⑱ 東風泊保育所入所式 (10:00~同所)	11 友引 メートル法公布記念日 ⑲ 各幼稚園入園式 (9:30~青幼) (10:00~奥幼) ⑳ 温泉健康相談 (10:30~神温)	12 先負 役場閉庁日 各学校休業日
13 仏滅 ⑳ 奥尻島津波館開館 (9:00~11月30日)	14 大安 ㉑ 神威脇温泉定休日	15 赤口 ㉒ ポリオワクチン予防投与 (12:30~母子)	16 先勝 ㉓ 登記相談所 (9:00~海セ) ㉔ 佐藤義則野島展示室開館 (9:00~10月31日) ㉕ ファミリーパーク開園 (9:00~10月31日)	17 友引 ㉖ 耳鼻咽喉科診療 (13:30~病院)	18 先負 発明の日、よい歯の日 (8:30~、13:30~病院) ㉗ 消化器内科診療 (13:30~病院)	19 仏滅 地図の日 役場閉庁日 各学校休業日 ㉘ 奥尻町クリーンアップ作戦・海浜清掃 (8:00~全町)
20 大安 穀雨 ㉙ 東京奥尻島人会 (東京都)	21 赤口 民放の日 ㉚ せたな定期航路就航 (1便~4月30日まで) (2便~5月1日から9月30日まで)	22 先勝 地球の日 	23 友引 ㉛ 本の読み聞かせ (14:00~海セ)	24 先負 	25 仏滅 国連記念日 ㉜ すくすく子育て広場 (13:20~母子) ㉝ 乳児相談 (14:00~母子) ㉞ 矯正歯科診療 (13:30~病院)	26 大安 役場閉庁日 各学校休業日
27 赤口 	28 先勝 ㉟ 神威脇温泉定休日	29 友引 昭和の日	30 先負 図書館記念日 	5/1	5/2	5/3

※町内行事の日程は、都合により変更となる場合もありますので、詳しいことについては、各問い合わせて先でご確認ください。

お問い合わせ先略称 ⑧ ハートランドフェリー ⑨ 榊北海道エアシステム奥尻空港所 ⑩ 環境センター ⑪ 企業管理課 ⑫ 教育委員会

会場・場所略称 (奥中)奥尻中学校 (青中)青苗中学校 (母子)母子健康センター (海セ)海洋研修センター

ごみ収集の略称 ㉑ 燃やせるごみ ㉒ 燃やせないごみ ㉓ 資源ごみ (北)北部・野名前~赤石地区 (南)南部・松江~神威脇地区

今月の月間 ・未成年者飲酒防止強調月間(~4月30日) ・春季における都市緑化推進運動(~6月30日) ・その他

発行・奥尻町 〒043-1498 北海道奥尻郡奥尻町字奥尻806番地 ☎01397-2-3111(代) FAX01397-2-3445(代)

編集・総務課情報サービス係 ☎01397-2-3402(直通)

奥尻町ホームページアドレス <http://www.town.okushiri.lg.jp> Eメールアドレス info@town.okushiri.lg.jp

【このまま見やすいところへ貼ってご活用ください】